

# 災害ボランティアってなんだろう

---

- 様々な年齢層、様々な職種の人たちが「効率よく効果的に活動をする」ために拠点が必要で、それが災害ボランティアセンターになります。
- 災害ボラセンは被災地の社会福祉協議会（地域の要援護者の情報を持っている、日頃からボランティア活動を促進している）が担当する事が多いです。

# なぜ、災害ボランティアセンターを 社会福祉協議会が運営するのか

---

- 災害ボランティアセンターは以下の理由から、被災地の社会福祉協議会（社協）が担当する事が多いです。
  - ① 地域の「災害時要配慮者」の情報を持っている
  - ② 日頃からボランティア活動を促進している
  - ③ 行政とのつながりが強い
  - ④ 全国すべての市町村に社会福祉協議会があり、平時からのネットワークを有している

# 自分の命と家族を守りましょう

---

当然のことですが、発災直後、災害ボランティアはいません！

⇒ 災害発生時は、まず**自分の命と家族を守りましょう！**

**災害前後の自助活動**が大切です。

# 災害ボランティアの活躍

---

- ・ 災害ボランティアセンターの設置時期は？

（災害の規模によって異なる。）

災害ボランティアの活動は、避難勧告が解除されてからの活動が前提。

⇒ おおよその目安

地震 約72時間後

水害 水が引いてから



# 災害ボランティア

---

全国から、たくさんの善意を持ったボランティアが、被災者の生活復興のため、温かい気持ちを持って被災地に駆けつけてくれます。

例：スーパーボランティアと言われる尾畠春夫さん。

山口県で行方不明となっていた2歳男児を山中で発見し、連日ニュースに登場！！東日本大震災の際は南三陸町にボランティアとして従事！

# 地元住民でしかできない役割

- 災害ボランティアセンターのスタッフとして、一住民として…
    - 地図おこし
    - 道案内
    - 電話対応
    - 被災者との顔つなぎ
    - 被災者とのお話相手
- …まだまだたくさんあります！！



# まとめ

～SOSを出しても良い、と思えるまち・ひとに～

---

◎**受援力**（じゅえんりょく）を高めよう！

⇒**支援を／受ける／力／受ける勇気**

災害時に地域で支援を受ける力や知恵のこと。

「ふだんの暮らし」の中で、みんなで育みましよう。